

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズステーション みらe 児童発達支援		
○保護者評価実施期間	R7年12月8日		R8年1月 9日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	R7年12月8日		R8年1月 9日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	R7年2月18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> 活動プログラムの立案。 法人内の他事業所との連携体制が整っており、相互に協力しながら目標に沿った活動を柔軟に立案・推進できている。 	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの児童発達支援計画に基づき、5領域を意識した活動プログラムを立案・実施している。 活動や支援について振り返る機会を大切に、次の支援に活かすよう努めている。 児童一人ひとりの「やりたい」「挑戦したい」という気持ちを尊重し、活動内容に反映している。 季節を感じ、実体験を通して学べる活動を取り入れている。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動実施後の支援の振り返りや気付いた点を職員間で共有する時間を十分に確保するため、業務内容の見直しや役割分担の調整を行い、支援の質の向上につなげていく。 児童一人ひとりの気持ちを大切にしながら、「みらeだからこそ挑戦できること」を意識した支援を検討し、ご家族の要望や意見も丁寧に聞き取りながら活動内容に反映していく。
2	<ul style="list-style-type: none"> 職員の資質の向上。 	<ul style="list-style-type: none"> 支援の振り返りに十分な時間を確保できていない時期もあったが、業務の見直しを行い、現在は振り返りの時間を確保できる体制が整ってきている。 援助についての学びを深め、日頃の支援や関わりを振り返ることを目的としたスキルアップ研修を毎月開催している。 外部研修・内部研修への参加を促進している。 eラーニングを活用し、継続的な学びの機会を設けて 	<ul style="list-style-type: none"> 安全面については、防災・防犯訓練および救急救命講習を計画的に実施し、職員一人ひとりの危機対応力の向上に努めてきた。今後もこれらの取り組みを継続するとともに、eラーニングを積極的に活用することで、継続的に学べる環境を整備する。これにより、職員の知識・技術の定着と更新を図り、組織全体の支援力および安全意識のさらなる向上を目指していく。
3	<ul style="list-style-type: none"> ご家族との連携。 ご家族や園との連携を大切に、現状把握や支援体制に関する情報交換を丁寧にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ケアコラボ(ウェブ上の記録媒体)を活用し、みらeでの過ごし方を写真・動画・言葉で丁寧に記録し、ご家族に公開している。 ご家族とコメントを通じて双方のやり取りができ、日常的な情報共有につながっている。 年2回の個別面談を実施している。 ご家族からの相談や要望に応じて、随時個別面談を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在行っている記録の内容や方法について、ご家族からも意見を伺い、より分かりやすく伝わる記録となるよう、取り組みの見直しや修正を行っていく。 ご家族の意向や状況に応じて、グループ面談や個別面談を柔軟に実施し、相談しやすい関係づくりと連携の強化を図っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 振り返りの時間確保。 	<ul style="list-style-type: none"> 各保育所への行き帰り送迎に時間を要する。 	<ul style="list-style-type: none"> 業務の見直しと、スタッフ間の連携を図っていく。 登園状況に変更があった場合など、ルートの見直しをその都度検討する。
2	<ul style="list-style-type: none"> 家族支援。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育所からの利用が中心であるため、送迎時などにご家族と直接顔を合わせて話をする機会が少なく、日常的な情報共有や信頼関係の構築が十分に図りにくい状況がある。その結果、ご家族の思いや不安、支援に対する要望を把握する機会が限られていることが課題となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者評価および事業所自己評価の結果を踏まえ、家族支援の充実に向けて必要な改善点を整理し、具体的な取り組みを検討していく。 ご家族からのご意向を発信できる環境を整え、個別の相談や情報共有を行うことで、信頼関係の構築を図る。また、職員がペアレントトレーニングについて学び、家庭での関わり方や支援方法について適切な助言が行えるよう、知識・技術の習得に努め、家族支援の質の向上を目指していく。
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 キッズステーション みらe

公表日 8 年 2 月 28 日

利用児童数 27 回収数 25

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	24			1	教室や園庭が広くてきれいで、素敵です。	利用児の過ごし方や活動に合わせて仕切りを使用したり、開放して対応しています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	21	1		3	手厚い支援をして頂き有難いです。	職員配置基準を順守しています。適正な職員を配属しています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	1		5		設備、備品等について整備しておりますが改善する箇所が無いか、お子様のご使用状況を見ながら検討していきたいと思っています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	23	1		1		毎日の消毒や清掃により、清潔を保持するよう心がけています。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	24	1				
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22			3		支援プログラムを作成し、ホームページでも公表しています。
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	23	1		1		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	24			1		支援プログラムを作成し、ホームページでも公表します。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	24			1		計画書に沿った支援を行い、支援状況を確認しながら見直しも行っていきます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22	2		1	ハロウィンやクリスマス、クッキング等楽しいイベントをたくさんありがとうございます。	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	17	2	1	5		併行通園のため保育所にて活動する機会があります。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	25					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	17	3		5		ご家族の意向を確認しながらニーズに応じたグループ面談等検討します。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	23	2				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	24	1			面談の時間を十分に設けてくださって、いつも密に情報の共有ができて有難く思っています。	定期的な面談を行っています。ご家族のご意向を確認しながら必要に応じてご相談を受けています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22	2		1	子どもの頑張りと成長と一緒に喜んでもらえる事がうれしいです。	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	4	4	8	・同じクラスの子ども達を知らないで知る機会があってもいいのではないかなと思う。 ・他の親御さんと交流する機会を設けるのはなかなか難しいと思いますが、以前参加した時に貴重な時間になりましたので、また機会があれば参加したいです。 ・このまま(今のまま)でいいと思います。	保護者のご意向を確認させていただき、保護者会等の開催を検討していきたいと思っています。
	19 こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22			3		契約時に重要事項説明書をもとに、苦情等の受付窓口から苦情解決責任者などご説明しております。苦情要望については、課内の連絡会、法人の経営会議、第三者委員会でも取り上げ、対応した結果についても評価しています。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23	2				
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	24			1		毎月のみらe新聞の中で、活動等お伝えしております。自己評価等につきましてもホームページに掲載しています。
22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	24			1			

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	1		5	マニュアル、規程は整備されています。お便り、しおり等で周知、必要に応じて説明をさせていただきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19			6	防災訓練は年2回実施しております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思えますか。	24	1			屋外活動の際には事前に安全点検を行っています。安全の確保ができた状態で活動を実施しています。点検結果はお便りで周知をしています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思えますか。	24	1			文章では伝わりづらいのでTELでの説明が欲しいと思った事がありました。（怪我の時）
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	24	1			みらeの日は全く嫌がることなく行ってくれます。 年2回対面での面談を実施しています。保護者とお会して話しをさせて頂く貴重な機会と捉えております。近況や要望等をお聞かせ下さい。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	24	1			・「今日はみらeだよ」と教えると「みらe! やったー!」と喜ぶ姿を見せてくれます。 ・利用日はいつも楽しみにしています。 ・こども園よりみらeがいいというほど毎度楽しみにしています。 年2回対面での面談を実施しています。保護者とお会して話しをさせて頂く貴重な機会と捉えております。近況や要望等をお聞かせ下さい。
	29	事業所の支援に満足していますか。	23	1		1	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		キッズステーション みらe		公表日		8 年 2 月 28 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		室内で体を動かす活動は広いホールで行っている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		職員配置基準を順守し、適正な職員を配属している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		設備、備品等について整備している。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○			今後、検討する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的な会議も含め、資質向上を目的とした会議を実施している。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		毎年更新し公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○				
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○				
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		業務を見直し、振り返りの時間が確保できるよう調整している。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○				
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○				
関	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○				
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○				
	26	併用利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		移行支援シートを活用している。幼・保・こ・小連携会に出席し、情報を共有している。		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○				

係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携		(28~30は、センターのみ回答)				
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受けられる機会を設けているか。	○		・情報共有や助言を得る機会として、伊佐市で開催された学習・交流会に参加した。 ・児童発達支援センターからの移行受け入れにあたり、担当者会議に参加した。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	ペアレントトレーニング基礎講座を受講した。		
保 護 者 へ の 説 明 等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に重要事項説明書をもとに説明を行っている。	支援プログラムについても契約時、定期面談等で説明を行っている。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
非 常 時 等 の 対 応	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		○		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○				
50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○				
51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○				
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○				
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		○	・該当する児童がいない ・安全のため、一時的に部屋に会議をする場合もある。		